

【経過】

2013年度調査報告で、芦川橋から松戸市六高台方面支流の**本流合流部から500m上流まで**オオカワヂシャが自生していることを報告した。その後、2014年4月の調査でこの支流に自生しているのはほとんどが「カワヂシャ」であることが判明したことを5月に報告した。(右図参照)

【新たに確認された課題】

2015年3月から生息状況を継続調査してきた。3月はこの支流の多くの箇所でオオカワヂシャが種子から発芽したと思われる10~20cmの株が多数確認された(写真1)。また、4月26日には、茎の直径2~3cm、高さ70~80cmもある株が水路の中や岸辺で確認された(写真2)。これらは、この支流に確認された種子から発芽成長した株とは成長度が明らかに違い、上流より流されてきたものと推測された(写真3)。



写真1
右がカワヂシャ、
左がオオカワヂ
シャ
(2015年3月28
日撮影)



カワヂシャ生息図(2014年5月報告)



写真2



写真3

写真2 オオカワヂシャ、流れ着いた株が生長している

写真3 上:カワヂシャ、下:オオカワヂシャ

この上流はコンクリート三面張り水路となり、松戸市六高台の調整池につながっている。上流の分岐も含めて調査したところ、柏市高南台3丁目調整池より流入する水路に一面に繁茂するオオカワヂシャ群落を確認した。そのため以下の課題があり、如何に対処するのかを早急に検討しなくてはならない。

- ① 柏市高南台3丁目調整池より流入する水路約350mに一面に繁茂するオオカワヂシャ群落の駆除
- ② カワヂシャ自生地の保全のための、同地のオオカワジシャ駆除作業の継続
- ③ この水路は、芦川橋の直近上流部で本流に流入している。昨年度まで橋脚の掛け替え工事と河川改修があつたため、上流側護岸は、まさに更地の状態となっており、カワヂシャとオオカワヂシャが多数発芽している。現在発芽生長しているオオカワヂシャを種子が実る前の駆除

